

## いわてDC期間中の主要観光地12ヶ所の入込状況（概況）と

### 「あなわん」運動の継続した取組について

いわてDC期間中(平成24年4月1日(日)～6月30日(土))の県内主要観光地(12ヶ所)における観光客入込状況を取りまとめましたので、その概要をお知らせします。

1 入込数 1,709,679人回

2 前年・前々年比較

(1) 対23年比 916,398人回、115.5%の増加

(2) 対22年比 112,639人回、7.1%の増加

3 特徴

・ 4月当初の低温・降雪やゴールデンウィーク後半の荒天の影響があったものの、平泉を中心としたエリアで震災前の平成22年同時期の観光客入込数を大きく上回りました。

また、5月に開催された「東北六魂祭」以降、各地への入込も概ね堅調に推移しました。

4 今後の取組

・ いわてDCをきっかけに、県民一人ひとりが「わんこきょうだい」になって観光客をおもてなししようと呼び掛ける「あなわん運動」(一人ひとりがおもてなし! あな(わ)た(も)わ(た)し(も)「わんこきょうだい」)を展開しました。

・ いわてDC終了後においても、観光の力による震災からの早期の復興を目指し、継続して「あなわん運動」の浸透に取り組むこととしており、今般、一層の機運醸成を図ることを目的に今般、「あなわん運動」のPR旗を作成しました。本PR旗を活用し、各種取組を通じて機運の盛り上げを図っていきます。

### 1 主要観光地入込状況（概況）

(1) 過去3年間の4月～6月の主要観光地の入込状況 (単位：人回、%)

	調査期間	観光客入込数	対前年比	対22年比
平成24年	4/1(日)～6/30(土)	1,709,679	215.5	107.1
平成23年	4/1(金)～6/30(木)	793,281	49.7	
平成22年	4/1(木)～6/30(水)	1,597,040		

(2) 対22年比で増加となった主な観光地 (単位：人回、%)

主要観光地名	平成24年	平成22年	対22年比
平泉	545,063	257,951	211.3
歴史公園えさし藤原の郷	56,880	43,320	131.3
宮沢賢治記念館	48,855	38,930	125.5
石川啄木記念館	6,021	5,330	113.0

## 2 「あなわん運動」取組の概要

国内外から訪れる多くの観光客に対して、県民一人ひとりが「わんこきょうだい」になっておもてなし、多くの方々にいわてファンになっていただくことを目的に、様々な媒体を活用するなどし、「あなわん運動」(一人ひとりがおもてなし!あなたもわたしも「わんこきょうだい」)を展開。



**みんなで おもてなし あなわん運動**

一人ひとりがおもてなし! **あ**な **た**も **わ**たしも「**わ**ん **こ**きょうだい」

「おもてなし」といっても特別なことではありません。  
いつものように笑顔とまごころでお迎えしましょう!

**優しい心で迎えましょう**  そばっちゃん

困っている人を見かけたらひと声かけましょう。

名物や美味しいものをどんどん教えましょう。

 うにっちゃん

自慢できる場所や美味しい食べ物などを伝えることも、ふれあいの第一歩です。ちょっと勇気を出して、ひと声かけてみましょう!

**笑顔で迎えましょう**  おもちちゃん

観光バスやイベント列車を見かけたら手を振って大歓迎しましょう。

記念撮影など、笑顔で声をかけて手伝いましょう。

 こくっちゃん

笑顔や明るいあいさつは、誰もがいい気分になります。初めて岩手を訪れたお客さまも、楽しく旅行できるでしょう!笑顔が一番のおもてなしです。

**きれいな岩手で迎えましょう**  とんぷっちゃん

どこへ行ってもゴミのない、クリーンな環境を目指しましょう。

落書きなどのないきれいな街並を保ちましょう。

 そばっちゃん

美しい自然・きれいな街並。日頃からの気配りできれいな岩手で迎えましょう!

### (1) これまでの取組

「いわてグラフ」への掲載をはじめ、ホームページや様々な広報媒体等を活用し県民への浸透を図った。

- マスメディアを活用したPRの展開
- 市町村広報誌や各業界広報誌等への掲載
- 公共交通機関(バス、鉄道)の協力を得た車内広告の掲出
- ゴミ拾いなどの清掃活動 など

### (2) 今後の展開

- いわてDC推進協議会に参画いただいている各主体において、広報誌や社内誌といった様々な広報媒体等を活用し、団体構成員や県民全体への呼びかけ運動の展開。
- 運動主旨に沿って、各種団体、商店街等が実施する清掃・美化活動や、あいさつ運動等、自主的な活動の企画実施への働きかけ など

お問合せ先：いわてDC推進協議会事務局(岩手県商工労働観光部観光課内)  
019-629-5572、県庁内線 5572、5575